

令和7年4月1日号

# まちなみ通信 No.71

～ 市と宮島工業高校の取組 ～



伝建制度50周年記念事業  
「伝建スタンプラリー」

廿日市市宮島町のスタンプ

## － 旧若狭家での実測実習 －

宮島工業高校建築科では、「町家の建築的特徴の学習」と「測量製図」の授業の一環として、令和4年度から島内の伝統的建造物を対象に毎年1棟ずつ、3Dプリンターで建築模型を製作しています。令和6年度は市が取得し、公開施設として修理復原を予定している旧若狭家の模型を製作してもらいました。



## － 現地で調査 －

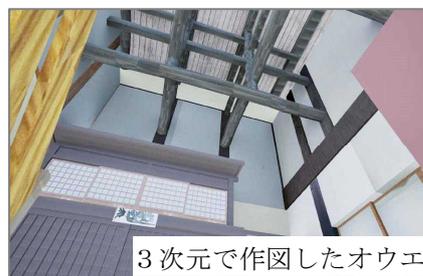
8名の生徒が昨年9月から10月にかけて計6回にわたり現地での測量を実施しました。測量機器などを使い、寸法などを手描きの図面に落とし込んでいきます。築400年程度経過した町家は至るところにゆがみが生じているため、担当教諭と市職員と一緒に悪戦苦闘しながら寸法を描き込んでいきました。



現地調査の様子

## － 図面を作成 －

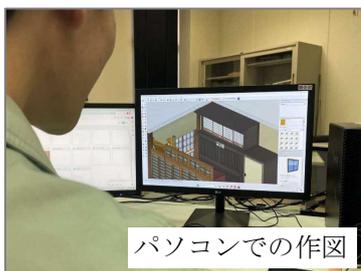
専用ソフトを使って、パソコン上で図面を作図していきますが、新築の建物と違いゆがみが生じている町家の作図はとても難しく、何度も細かい調整を要しました。



3次元で作図したオウエ

## － 3Dプリンターで出力 －

完成した図面をパソコンで3次元化し、色情報などを盛り込み、細部まで作り込んでいきます。それをカラー着色可能な3Dプリンターで出力しますが、幅5cm、奥行26cmの模型でも約48時間かかります。一発勝負なので慎重な最終確認が必要です。



パソコンでの作図



中国新聞の取材時

## － ついに完成 －

2つの模型を製作していただき、1つは前所有者である若狭さんに、もう1つは市に寄贈していただきました。市がいただいた模型はetto宮島交流館ロビーに展示していますので、皆様もぜひご覧ください。今後、修理復原後の旧若狭家も同様に模型を製作していただく予定です。



etto 宮島  
に見に来てね



模型を手にする若狭氏

## ～ 伝統的建造物の紹介 No.6 《旧瀬田家（向井家）》～

北之町浜の町家通りに並ぶ、向井家をはじめとする4戸は、旧瀬田家屋敷の敷地に建ち、それぞれの建物矩体（構造部材のことです。）に建設当初からの建材が使われています。文化期（1804年から1818年）の『東町軒別間尺書』では、同敷地が長崎屋と対馬屋の2棟に分かれていたことから、4戸が建築されたのは少なくとも19世紀以降と推定されます。4戸は外観上、それぞれ個別の建物に見えますが、柱間の寸法が、共通して宮間という標準寸法が使われていること、平面構成が通り庭に面してミセ（8畳）、オウエ（4畳）、ザシキ（8畳）が並ぶ奥行五間の1列3室構成であることから、以前は4戸で1棟の長屋であったと考えられています。

向井家については、目視できる範囲では柱梁などに痕跡が少なく、詳細なことは不明ですが、当初の部材と思われる西側の柱列の痕跡、2階床板が切断されている状況、聞き取り調査などから、改修以前は正面左手の路地をまたいで、2階のミセ上部の居室が西隣の建物に接していたと推測され、現在の路地が元々は通り土間であった可能性があります。



現在の向井家外観



昭和40年代前半ごろの外観



当初部材と思われる2階床梁



建物正面左手の路地

## シロアリ駆除のための補助制度を活用してみませんか？

シロアリ駆除の時期は、4月～9月ごろが効果的です。

伝統的建造物の保存同意をいただいている所有者の方を対象に、シロアリ駆除のための補助制度を準備しています。（補助率9/10以内 上限100万円）※予算には限りがあります。

シロアリ被害にお困りの方や心配の方は、ぜひ一度、宮島企画調整課までご相談ください。

連絡先：宮島企画調整課 歴史まちなみ保存活用係 (0829) 30-9119

## 宮島で所有されている建物について、お困りごとはありませんか？

宮島に建物をお持ちの方で、何かお困りごとがあれば、ぜひご相談ください。

皆さんのお役に立てるよう、問題解決に向けて一緒に考えます。 ※もちろん秘密厳守です。

まちなみ通信 No. 71（令和7年4月1日）発行

廿日市市 経営企画部 宮島企画調整課 歴史まちなみ保存活用係 TEL(0829)30-9119 FAX(0829)32-1059